

近畿地区建設工事安全対策推進協議会

【鋼橋部会】における現場安全パトロールが実施される！！



現場安全パトロールの様子

近畿地区建設工事安全対策推進協議会では、災害防止活動の一環として各部会による安全パトロールが実施されていますが、【鋼橋部会】では、安全活動の一環として“事故の再発防止”と“安全管理のポイント”を現場の監督者と作業員に認識してもらうことと、同種工事の設計に反映させるべき事項の有無を調べるため、現場安全パトロールが行われましたので報告します。

現場安全パトロールは、平成12年2月2日（水）の午後1時30分より午後3時30分までの2時間に渡り、“設計部会”をはじめ、本局の道路工事課、技術調査課、近畿技術事務所、琵琶湖工事事務所などの参加のもと、琵琶湖工事事務所管内彦根出張所施工工事「砂

原橋上部製作・架設工事」（施工業者：川崎重工株式会社 橋梁型式：ニールセン・ローゼ橋）の工事現場において行われました。本工事はトラッククレーン・ベント工法によるもので、パトロール実施時点では上弦材の架設中でもあり、今後の作業も視野に入れて橋梁架設状況、足場の設置状況、安全設備など工事全般にわたりパトロールが実施されました。

作業通路の安全性に注目！！

パトロールにおける主なチェックポイントは、昇降設備における作業通路に段差がある箇所、通路上に足場単管が突き出ており作業員が転倒するなどの危険を及ぼす可能性がある箇所等、安全通路全般について指摘を受けました。（写真参照）

是正前



是正後



その他、上弦材吊足場の小物落下防止安全ネットの設置、桁添接部のつまずき防止設備の固定方法、手摺りの未固定箇所の存在など多岐にわたり指摘され、様々な方策で安全措置がなされました。

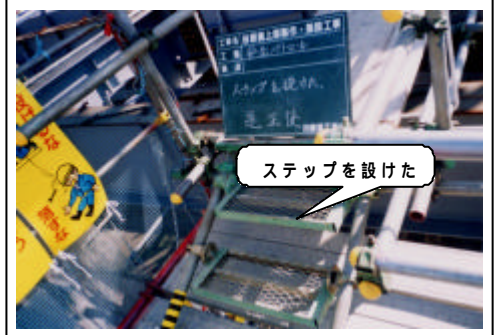
講評より

パトロール後の講評としては、親綱用スタンションの使用、安全带使用訓練台の設置、ハンドホールや突出物に対するトラテープでの表示等、材料の置き方や方向の工夫など「あらゆる面で良く配慮された現場」との評価を頂きましたが、床版施工がほとんどつり金具で施工される現状を考えると設計段階で検討する必要があるとの見解が示された。また施工者からは、箱型断面の現場内面塗装では酸欠を起こし易いことから、酸欠の恐れがない「無溶剤型塗料」の採用を求める要望があり、今後の検討事項とされました。

是正前



是正後



「もらい事故」防止技術を広く一般公募!!

近年、現道上の通行規制を伴う工事等において、一般通行車輛を第1原因者として交通整理員などの工事関係者が巻き込まれる事故（以下「もらい事故」という。）が多発増加傾向にあり、管内の直轄請負工事では、平成7年から97件発生し、内69件（7割）が運転者の前方不注意によるものとなっています。

平成11年度は、発生事故件数・死亡事故発生件数ともに前年度を大きく上回る状況となっていることから、通行規制を伴う現道上の工事および維持管理作業での「もらい事故」防止対策を、一般通行車輛等に対して、予告・注意喚起施設、視認性、誘導性、防護性を向上させる施設などに頼るところが大きいのが現状です。

このような状況を鑑み、建設省地方建設局では、次のような公募内容について、平成12年3月1日から24日の期間で、インターネットのホームページなども用いて、応募資格等を問わず、広く一般に公募することとなりました。

【公募内容】

通行規制を伴う現道上の工事および維持管理作業でのもらい事故防止対策として、一般通行車輛等に対して、通行規制の予告・注意喚起を効果的にできるもの、規制区間の交通整理員などの工事関係者の防護性を向上させるもの、無人化等による安全な誘導方法など、効果的な保安に係わる施設・システム（施設の組合せ）等の技術として、すでに開発が完了した技術、それらの技術の応用・組合せによるもの、かつ下記の【開発スケジュール】に見合う実現性のある技術等を公募しています。

【開発スケジュール】

試作機の開発・製作 : 平成12年5月上旬から9月上旬
 試作・効果確認および実機への改良 : 平成12年9月上旬から12月上旬
 現場への導入および実証・評価 : 平成12年12月上旬から平成13年3月末

なお、応募方法等は各工事事務所に掲示し、近畿技術事務所ホームページ (<http://www.kk.moc.go.jp/kingi/>) にも掲載しています。

1月の事故速報

（平成12年1月31日現在）

発生日時	発生場所	事故の状況
1月9日 3:00	大阪府	情報管路設置工事において、一般車が交通規制区間の走行車線で、暴走行為を三度にわたって行い保安施設を損壊させ、3度目に逆走した際、規制内で交通誘導を行っていた交通整理員に接触、交通整理員が負傷した。なお、一般車はその後逃走した。 〔交通整理員：右臀部打撲 右膝部打撲 全治5日間〕
1月11日 10:15	滋賀県	道路管理用の電気設備点検業務において、路肩部に規制看板を設置した直後、路肩部を走行して来た原動機付自転車が看板に追突し、看板の後方にいた交通整理員に接触、交通整理員が負傷した。 〔交通整理員：右足大腿部複雑骨折 全治3ヶ月〕
1月14日 11:30	三重県	低水護岸工事において、石張工を施工中、胴込コンクリートを施工するため普通作業員が掘削法面を通行していたとき、足を滑らし転倒し、負傷した。 〔普通作業員：右手小指骨裂傷 全治2週間〕
1月17日 14:30	奈良県	貯水池整備作業における雑木伐採作業において、林業作業員が別の木に移動しようとする位置を換えたところ、足場にしていた石が砕け、足がすべり、体のバランスが崩れた状態で転倒、負傷した。 〔林業作業員：左膝内側靭帯損傷、左膝関節血腫 全治30日間〕
1月18日 0:00	大阪府	情報BOX管路布設作業において、片側2車線の内1車線を規制していた所、一般車が規制内に進入し、交差点部で交通誘導を行っていた交通整理員と接触、交通整理員が負傷した。 〔交通整理員：右足骨折〕
1月18日 4:00	大阪府	情報BOX管路布設工事における埋め戻し作業において、バックホウの運転手が後方にいた交通整理員に気付かずに後進し、交通整理員と接触、交通整理員が負傷した。 〔交通整理員：右足首骨折、右足脛骨骨折〕
1月19日 10:30	奈良県	情報管路布設工事において、バックホウで掘削作業を施工していたところ、バックホウのバケットにより、事前調査における埋設物調査では判明しなかった水道管（VP 50）を切断し、上水道が断水した。 〔物損：水道管（VP 50）切断、民家7件が約3時間半の断水〕
1月21日 0:30	和歌山県	舗装修繕工事において、夜間作業を行っている1km先の現場に向かうため、待機していた合材ダンプが車道に出る際、交通整理員が赤色灯にて一般車に注意を促しダンプを出発させたが、一般車が飲酒運転により交通整理員に気付かず直進し、一時停止を試みた交通整理員を跳ね、ダンプに追突した。 〔交通整理員：肋骨骨折、右足骨折 全治2ヶ月〕
1月26日 4:20	京都府	標識設置工事において、片側2車線の内、走行車線を規制し標識設置作業を行っていたところ、居眠り運転の一般車が規制内に進入し、10tラフタークレーン前方右側アウトリガーに後方から激突した。 〔物損：10tラフタークレーン右側面損傷〕
1月26日 9:30	兵庫県	歩道橋等補修工事において、工事完成検査前の現場点検パトロール中に、高架橋の本線路肩部から側道に駐車していた車に戻ろうと、本線側から側道に渡ろうとしたとき、側道を走行して来た一般車と接触し、巡視員が負傷した。 〔現場巡視員：左腓骨骨折、頸部頸椎捻挫、左肘および右足関節打撲挫傷 全治2ヶ月〕
1月31日 23:05	奈良県	舗装修繕工事において、ダンプトラックが配水管埋戻し材料を取りに行くため走行車線に出る際、交通整理員の誘導を待たず、走行してくる一般車の確認が遅れたことから急停止したが、一般車が避けきれずバックミラー同士が接触した。 〔物損：一般車 バックミラー損傷〕